

少数台数のリコール届出の公表について（平成18年11月分）

リコール対象が少数である100台未満の届出について、平成18年11月は下記のとおり10件の届出がありましたので、公表します。

1. 届出者：住友ナコマテリアルハンドリング（株）

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月1日	1767	車名：SN 型式：SB-D3H 他 通称名：FD30PX 他	6	平成18年7月18日～ 平成18年9月22日
不具合の部位等		フロントアクスルにおいて、デフとアクスルハウジング及びドライブシャフトとハブの固定ボルトに締付けトルクが不足しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、当該ボルトが緩み折損することがあり、最悪の場合、フロントアクスルが破損し、走行不能に至るおそれがある。		

2. 届出者：新キャタピラー三菱株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月2日	外1356	車名：キャタピラー 型式：PDF 他 通称名：914G 他	20	平成17年11月7日～ 平成18年8月11日
不具合の部位等		ブレーキペダル内部の作動レバーに材質の異なるものを組み付けたものがあり、強度が不足しているものがある。そのため、繰り返し使用を続けると、最悪の場合、当該レバーが折損し、ブレーキが作動しなくなるおそれがある。		

3. 届出者：TCM株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月7日	1773	車名：TCM 型式：SD-S57 他 通称名：ZW250	5	平成18年2月15日～ 平成18年9月14日
不具合の部位等		全油圧形パワーステアリング用ポンプにおいて、ロータを押さえているバネにバネ力の弱いものが組み込まれており、また、バルブプレートの形状が不適切なものがある。そのため、連続的にステアリング操作を繰り返すと、作動油がポンプ内部で漏れて吐出量が低下し、ステアリング用の油圧が不足することがあり、最悪の場合、ハンドル操作ができなくなるおそれがある。		

4. 届出者：ヤマハ発動機株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月7日	1769	車名：ヤマハ 型式：BA-DG09J 通称名：TW225E	92	平成18年7月10日～ 平成18年8月22日
不具合の部位等		後輪ホイールハブの鋳造において、金型の冷却が不均一であったため、当該ハブに亀裂が生じているものがある。そのため、そのままの状態で使用を続けると、亀裂が進行し、最悪の場合、当該ハブが破損して走行安定性が損なわれるおそれがある。		

5. 届出者：小松フォークリフト株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月10日	1775	車名：小松 型式：SC-M180 他 通称名：-	7	平成16年 6月26日～ 平成17年11月29日
不具合の部位等	ブレーキ用アキュムレータのガス注入バルブのシール性が不足しているため、ガスが漏れることがある。そのため、そのまま使用を続けると、ガスの圧力が低下し、最悪の場合、制動距離が伸びるおそれがある。			

6. 届出者：ダイムラー・クライスラー日本株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
11月14日	外1359	車名：クライスラー 型式：GH-TJ40S 通称名：ジープ・ラングラー	18	平成18年 3月20日～ 平成18年 4月22日
不具合の部位等	マニュアル・トランスミッション車において、クラッチ・ペダルとクラッチ間のプッシュ・ロッド接続部の強度が不足しているため、ペダル操作の繰り返しにより、当該接続部が破損するものがある。そのため、そのまま使用を続けると、プッシュ・ロッドがクラッチ・ペダルから外れ、最悪の場合、走行不能になるおそれがある。			

7. 届出者：新キャタピラー三菱株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月17日	1779	車名：三菱 型式：A4P 他 通称名：MF61WE	63	平成15年 5月 9日～ 平成17年 9月30日
不具合の部位等	後輪ホイールナットの取付け座面に塗装が施されているため、走行時の振動等により塗装膜が剥がれる場合がある。そのためナットが弛み、そのまま使用を続けるとナットが外れ、最悪の場合、車輪が脱落するおそれがある。			

8. 届出者：アウディジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
11月21日	外1353	車名：アウディ 型式：GH-8PAXX 他 通称名：A3 スポーツバック 他	27	平成17年 8月 5日～ 平成17年10月12日
不具合の部位等	カーテンエアバッグ装置のインフレーター内の遮断弁の溶接が不適切なため、ガスが徐々に漏れるものがある。そのため、側面衝突の際、カーテンエアバッグが十分に展開せず、最悪の場合、乗員に過度の傷害を与えるおそれがある。			

9. 届出者：ゼネラルモーターズ・アジア・パシフィック・ジャパン株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	輸入期間
11月29日	外1364	車名：オペル 型式：TA-Z02Z22 通称名：ベクトラ	10	平成17年12月19日
不具合の部位等	前照灯の配線コネクタが確実に取付けられていないものがあるため、走行等の振動によりコネクタが外れ、前照灯が点灯しないおそれがある。			

10. 届出者：日産ディーゼル工業株式会社

届出月日	届出番号	車名、型式、通称名等	対象台数	製作期間
11月30日	1768	車名：ニッサンディーゼル 型式：AL634YNT 他	5	平成9年1月16日～ 平成17年5月11日
不具合の部位等	クレーン用台車の変速機と副変速機間のプロペラシャフトの製造工程において、焼入れ作業が不適切なため、強度が不足しているものがある。そのため、そのまま使用を続けると、プロペラシャフトが折損し、走行不能に至るおそれがある。			

[参考]

平成18年11月のリコール届出総件数(※)		内 訳	
		対象台数100台以上	対象台数100台未満
国産車	17件	11件	6件
輸入車	13件	9件	4件
計	30件	20件	10件

※対象台数の追加の届出については届出総件数に含まれません。

(問い合わせ先)

国土交通省自動車交通局技術安全部審査課
リコール対策室 中村・木内
電話 03-5253-8111(代表)(内線42352・42355)